



リバイブジャパンカップ受賞者の決定について

「新しい東北」を創造する新たなビジネスプランを応援するため、「リバイブジャパンカップ」を開催し、この度受賞者が決定しましたのでお知らせします。

「リバイブジャパンカップ」は、被災地はもとより、全国から東北の復興を進めるための事業参加を促進することを目的としたビジネスコンテストであり、復興庁の委託事業として実施しているものです。

今般、7つが入選案件に選定され、そのうち大賞として2つの案件が、審査員応援賞として3つの案件が選出されました。

今後は、受賞者等に対して、官民連携協議会、企業連携プロジェクト支援事業など他の施策とも連携しながら、事業パートナー・販路の確保などを支援していきます。

※ビジネス部門のほか、カルチャー部門、ライフスタイル部門、ポリシー部門の結果については、運営事務局のホームページを御覧ください。

<http://www.eco-japan-cup.com/revive/winner/index.html>

【配布資料】

資料1 平成25年度リバイブジャパンカップビジネス部門 入選案件一覧

資料2 リバイブジャパンカップ大賞案件の概要

以上

本件連絡先：

復興庁調査・調整班 倉井

TEL：03-5545-7232

復興特区班 白木、河上

TEL：03-5545-7365

平成25年度リバイブジャパンカップビジネス部門 入選案件一覧

事業名		応募団体 (所在地)	事業概要
大賞	水産版カンバン方式魚介類の高鮮度維持輸送システム	デジタルブックプリント株式会社 (岩手県)	大槌町から都内外食店向けの水産物の輸送システム（『大槌復興絆便』）として、氷の代わりに繰り返し使用できる高機能保冷剤と、輸送中の温度履歴を記録するセンサータグ、保冷車でなくても輸送可能な高機能保冷箱の活用により、産地の復興の加速を目指す。
大賞	中古着物生地によるリメイク雑貨製造販売事業	一般社団法人 WATALIS (宮城県)	全国から寄せられた着物地を地域の女性達の手で加工し、『FUGURO（ふぐろ）』などのリメイク雑貨を製造・販売。震災で崩壊したコミュニティの再構築と、就労に制約のある状況下にある女性達が自らの持つ技術を活かしながらより輝ける人生を歩むためのフィールドづくりを目指す。
審査員 応援賞	人口2万人の町でも成立する「高齢者の生活機能回復促進事業」＋「交流促進事業」	一般社団法人 りぶらす (宮城県)	東北沿岸部の過疎地域（人口2万人程度）をターゲットに、①リハビリ特化型デイサービス事業/介護予防事業 ②高齢者向けトレーニングスタジオの運営 ③「地域健康サポーター」事業 ④地域の交流促進事業 を実施。
審査員 応援賞	地域木材を活用することで地域経済復興にも資する、エコな「復興まちづくり」を普及させるためのモデルとなる事業	一般社団法人 天然住宅 (東京)	被災地域が抱えている住宅問題を解決するとともに、地域資源（地域木材及び地元伝統建築技術等）の活用により地域経済復興にも資する、エコな「復興まちづくり」を普及させるためのモデルとなることを目指す。
審査員 応援賞	いわきおてんとSUNプロジェクト	いわきおてんと SUN企業組合 (福島県)	いわきの明日・持続可能な未来に向けた、市民主体の復興ビジネス。 ①ふくしまオーガニックコットンの栽培、商品開発、販売 ②いわきコミュニティ電力の取組 ③復興スタディツアーの実施
入選	ジェスチャー入力コントローラーを活用した身体遊び実践的ノウハウ普及支援事業“からだあそび塾”	株式会社 Plainnovation (福島県)	福島県における子供の体力・運動能力の低下問題の解決に向け、専門家の研究に基づいた科学的アプローチ及び実務家の実践的ノウハウに基づいたトレーニングメソッドを作成。同時に、体の動作を感知できる先端技術を活用し補助教材を整備、プレイヤー等の育成と合わせ、広くサービス展開を目指す。
入選	石巻どんどんプロジェクト	協働マネジメント 株式会社 (宮城県)	震災により販路を失った個人水産養殖業者・漁師を救うために、被災地石巻市で高級レストランの立ち上げ・運営事業を実施。石巻の海産物をブランディングし、新たな販路を開拓。被災した漁師、個人の水産養殖業者の雇用創出・所得増加を目指す。

【大賞】 <デジタルブックプリント株式会社> 水産版カンバン方式魚介類の高鮮度維持輸送システム

岩手県大槌町から都内外食店向けの水産物の輸送システム（『大槌復興絆便』）として、氷の代わりに繰り返し使用できる高機能保冷剤と、輸送中の温度履歴を記録するセンサータグ、保冷車でなくても輸送可能な高機能保冷箱の活用により、産地の復興の加速を目指す。



【大賞】 <一般社団法人WATALIS> 中古着物生地によるリメイク雑貨製造販売事業

全国から寄せられた着物地を宮城県亘理町の地域の女性達の手で加工し、『FUGURO（ふぐろ）』※などのリメイク雑貨を製造・販売。震災で崩壊したコミュニティの再構築と、就労に制約のある状況下にある女性達が自らの持つ技術を活かしながらより輝ける人生を歩むためのフィールドづくりを目指す。

※かつて宮城県亘理町で返礼などの際に使用されていた、着物の残り布で仕立てた袋「ふぐろ」を再現。特に定まった呼称はなく、現在でも「ふぐろ」がなまって、「ふぐろ」と呼ばれている。



中古着物生地によるリメイク雑貨(FUGURO)